

愛知県公立高等学校PTA連合会

高P連だより

号外

2012

◆事務局◆

名古屋市中区新栄一丁目49番10号
愛知県教育会館6階
TEL: <052>261-5886
FAX: <052>241-7048

【印刷】

手島印刷株式会社
TEL: <052>522-1635



新入生保護者の皆さまへ

愛知県公立高等学校PTA連合会

副会長 深津 幸彦

晴れて高校生となられた新入生のみなさん、ご入学おめでと
うございます。保護者の皆さま
には、お子さまが高等学校で自
らを磨き向上させようとして、
夢に向かう第一歩を踏み出され
た姿を見られて頼もしく思われ
ていることでしょう。

昨年は東日本大震災が起こ
り、その悲惨さに全国民が驚き
と深い悲しみに包まれました。
そんな中、地元で復興に向け前
向きに生きようとする若者たち
のニュースが報道されました。
ボランティア活動に積極的に参
加し、人間の結びつきの大切さ
を実感したことで、生きる意志
を取り戻し、苦難を乗り越える
様子に私達も勇気づけられまし
た。保護者の皆さまは、わが子
にもたくましく生きる力を持っ
てほしいと切に願われたと思い
ます。自らの体験が今後の人間
形成に大きく影響する時期は高
校時代です。お子さまには、自
らを高め、何事にも挑戦しベス

トを尽くす姿勢を持ちつづけて
頂きたいと思えます。

保護者の皆さまにお願いがあ
ります。お子さまは義務教育と
は違って一つ一つの行動、言葉
に責任を負う大人の世界に飛び
込もうとしています。私たち大
人もそうだったように、子供
たちにとっては相当なプレッ
シャーであることと想像できま
す。頭では分かっていることで
も行動に移すとすると難しいも
のです。私たちに必要なことは、
子どもが将来に向けて行動を起
こした時は必ず褒めてやること
です。また、何か悩んでいると
思えば、声を掛け一言アドバイ
スをしてあげてください。親が
常に自分のことを気に掛けてい
ると感じることで、子どもは家
族を信じ頑張るものです。
私も県高P連もさまざまな
活動を通して子どもたちをバツ
クアップしてまいりたいと思っ
ます。今後ともどうぞ、よろし
くお願い致します。



保護者の皆さまへ

愛知県教育委員会

委員長 小池 高弘

このたびは、お子さまの高等学
校への合格、誠におめでとござ
います。保護者の皆さまのお喜び
もひとしおのことと存じます。ま
た、お子さまは入学式を目前に控
えて、これから始まる高校生活へ
の期待と希望に胸を膨らませてお
られることと拝察いたします。

高校時代は、多様な経験を通じ
て、心身ともに成長する大切な時
期であります。次代を担う若者た
ちには、国内にとどまらず、世界
を舞台に活躍することが期待され
ます。昨年、サッカーの女子ワー
ルドカップで優勝した「なでしこ
ジャパン」の勇姿は記憶に新しい
ところですが、彼女たちの、最後ま
で決してあきらめないという強い
意志や仲間を信じてひたむきに努
力する姿は我々に大きな希望と勇
気を与えてくれました。
さて、昨年三月の東日本大震災
から一年が経過し、被災地の復興
が進む中で、あらためて、地域の
絆やコミュニケーションの重要性が注目
されています。そこでは、我々お

となのみならず、次代を担う若者
たちの力が欠かせません。
教育委員会では、昨年六月、「あ
いちの教育に関するアクションプ
ランII」を策定し、家庭・地域・
学校の連携により、地域社会全体
で若者を育む取組を推進しており
ます。

保護者の皆さまにおかれまして
は、まずは高校生活の在り方に関
心を持っていただくとともに、こ
れまでに増して、温かくお子さま
の成長を見守り、支えていただき
たいと思います。
また、各学校における教育活動
への一層の御理解と御支援を賜り
ますとともに、PTAの研修会等
を御活用いただき、地域に根ざし
た学校づくりにお力添えをいただ
きますようお願い申し上げます。
最後になりましたが、お子さま
が充実した高校生活を送られ、健
やかに成長されますことを御祈念
申し上げます。お祝いの言葉と
させていただきます。

平成23年度
地区研修会
実施概要

平成23年度に実施された県内各地区の活動状況は下記の表のとおりです。
毎年各地区においては、多くの会員の参加を得て、講演会、研究発表、シンポジウム等の内容で地区内の会員の親睦を図り、各単位PTAの活動状況を見直し、会員相互の意思疎通の場として、盛大に開催されております。

東三河		西三河	知多	尾張	名 瀬			地区名
					(尾 東)	(名 南)	(名 北)	
23・11・22(火)	23・5・13(金)	23・10・12(水)	23・11・4(金)	23・5・13(金)	24・1・17(火)	24・1・27(金)	24・1・20(金)	年月日
講演：「家庭における国際理解」 ——トルコ文化とイスラムについて—— 講師：NPO法人名古屋トルコ日本協会 副理事長 コチュサーリム氏	講演：「10年目のネグレクト」 ——児童虐待防ぐために何が必要か—— 講師：ルポライター 杉山 春氏	講演：「東日本大震災に学ぶ 今後の巨大地震への備え」 講師：名古屋大学大学院 環境学研究所教授 福和 伸夫氏	講演：「親と子のコミュニケーション」 ——誉め方・叱り方—— 講師：構成作家・フリーアナウンサー 千田 伸子氏	講演：「高校生の心理と居場所づくり」 ——「損材」から「尊在」へ—— 講師：國學院大學教授 新富 康央氏	講演：「今時の若者に思ふこと」 ——ラジオ・テレビの取材を通して—— 講師：CBCアナウンサー 宮部 和裕氏	講演：「家族みんなで摘み取ろう！メタボの芽」 ——子供たちの背中にもメタボの足音—— 講師：椋山女学園大学 生活科学部 管理栄養学科 教授 医学博士 加藤 昌彦氏	講演：「『伝える』を考へる」 講師：NHK名古屋放送局アナウンサー 浅野 光成氏	概要
ライブポート とよはし	ウエステージ豊橋	ハピネスヒル幸田 つばさホール	武豊町民会館 ゆめたろうプラザ 輝きホール	稲沢市民会館	尾張旭市文化会館 (あさひのホール)	名古屋市 太白文化小劇場	ルプラ王山	会場

お

お子さまの高等学校合格、おめでとうございます。
高校生になるお子さまは、新しい環境に期待と不安を抱いていることと思います。高校生の年代は、自我の意識が高まる一方で、自分の考えに確固たる自信をもつことができず精神的には不安定な時期です。
お子さまが新しい環境に適応し、充実した学校生活を送ることができるよう、保護者の皆さまと連携してまいります。

本県の高等学校教育について

平成二十一年三月に公示された高等学校の新学期指導要領は、すでに一部先行実施されており、平成二十四年度からは数学と理科が実施されます。知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視するとともに、豊かな心や健康やかな体を育成するという今回の改訂のねらいを踏まえ、各学校では特色ある教育課程を編成しています。

また、学校は社会性を養う場でもあります。さまざまな教育活動を通じてお子さまが好ましい人間関係をつくり、自ら将来の生き方を考え、目標をもって

はじめて高校生をおもちになる保護者の皆さまに

愛知県教育委員会 高等学校教育課

学業に励むことができるよう努めています。

自律的学習態度について

高等学校においては、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、自ら学び、考える意欲と力を身に付けることも求められています。そのためにも、家庭学習を習慣化し、自ら探究する自律的な学習態度を身に付けていくことが大切です。

学校・家庭・地域の連携を

県教育委員会では、「あいちの教育に関するアクションプランII」を策定し、家庭・地域・学校の協働による教育を推進しています。県内12地区で実施している「地域協働生徒指導推進事業」では、保護者の皆さまや地域の方々と連携して生徒の健全育成に取り組んでいます。お子さまの健やかな成長のために、御理解と御協力をお願いいたします。

これからの高校生活において、お子さまが自律の精神を養うとともに、個性や社会性を伸ばし、心身ともに健全な青年として成長されることを願っています。

今

は平成24年3月。あの未曾有の大被害をもたらした東日本大震災から1年が過ぎました。この一年の間、日本全体が混乱し世界中が動揺しました。現在の産業、文化、あるいは生き方などについて根底から見直す機会になったということができません。

防災をはじめ、防犯・交通安全も含めた「子どもの安全」を考えると、今回の震災は、施設設備のようなハード面の対策では限界があることを知る機会となりました。この現実を踏まえ、今日では、子ども自らが判断し行動できる能力を育成することがより重要な課題と位置づけられてきています。「自分の命は自分の力で守る。」そして、「地域の安全を守る力となる。」

「そういう生徒の育成に取り組んでいかなければなりません。」

また、大震災によって私達の生活に見られた変化の一つとして、「コミュニケーションの在



高校生防災セミナーの受講風景

安心・安全な学校づくりを目指して

愛知県教育委員会 健康学習課

「絆」という言葉が「平成23年・今年」の漢字に選ばれたこと、象徴されるように、家族や地域のひとと過ごす時間を大切に、地域と共に生きる意識が強く、助け合いが今まで以上に直視されるようになってきました。人とのつながりは、安全・安心な社会づくりには不可欠な要素となっています。

これらのように、近所や地域との支え合いは言うに及ばず、国境をも越えて寄せられる支援の大きさは、そのまま安全に対して共有する問題意識の大きさにつながっています。この点は、防災に限らず防犯・交通安全の分野にも当てはめて考えることができます。

安全教育・安全管理のためには学校、家庭、地域が問題意識を共有し、深く連携して取り組んでいくことがとても重要となります。私たちはこれらの課題に真摯に取り組み、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

お

子さまの高等学校への合格を心からお祝い申し上げます。

近年における急激な社会環境の変化に伴い、人々の生活様式や価値観も多様化が進んでいます。

こうした中、スポーツは、単に体力の向上や健康の保持増進のためだけでなく、人生を豊かにする「生きがい」や「文化」として、私たちの生活に不可欠なものとして認識されるようになってきました。

昨年制定されたスポーツ基本法では、「スポーツは、世界共通の人類の文化である。スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利である。」とスポーツ権が謳われ、スポーツの推進を国の責務としました。

本県においても、二十一世紀の豊かな生涯スポーツ社会を築くため、さまざまな施策を講じ、取り組んでいます。が、本課としても学校体育の充実に向けて、次のような点に留意しつつ、適切に指導を進めていきます。

まず、豊かな



体づくり運動の授業風景

これからの学校体育

愛知県教育委員会 体育スポーツ課

スポーツライフの実現に向けた体育授業を目指します。生涯にわたって、自ら進んで運動やスポーツに親しみ、実践することは、健康で「生きがい」のある生活に直接結びつくものです。そのために自ら運動をする意欲を培い、生涯にわたって積極的にスポーツに親しむ資質や能力を育成することを目指します。特に、スポーツを自ら選択できる「選択制授業」を通して、スポーツの楽しさや喜びを味わい、生徒が運動を好きになり、生涯を通して豊かなスポーツライフを実現するための基礎づくりを目指します。

また、体育授業の工夫・改善を進めるとともに、生徒の発達段階に応じた指導を継続的にを行い、学校の教育活動全体を通して体力の向上に取り組んでいきます。

保護者の皆様におかれましては、各学校におけるスポーツ活動に御理解と御協力をお願いするとともに、お子様が積極的にスポーツに取り組むよう御支援をお願いします。

お子さまが充実した高校生活を送られ、たくましく成長されますよう御祈念申し上げます。

事務局 だより

保護者の皆様を新会員としてお迎えすることを心よりお喜び申し上げます。

この4月から皆様には、愛知県公立高等学校PTA連合会（「愛知県高P連」）にご加入していただくこととなります。以下、その組織と活動の概要をご説明いたします。

愛知県公立高等学校PTA連合会

● 会員

愛知県立高等学校等176校のPTA会員が加入する組織です。昭和26年に発足し、現在の会員数は約12万人余です。

● 目的と事業

- 会員相互の連携と協力を図り、教育の振興充実に寄与することを目的とし、次の事業を実施しています。
- (1) PTA活動の研究・調査及び連絡調整
- (2) 会員の研修
- (3) 教育環境の整備促進
- (4) 児童生徒の安全・健康と福祉の増進
- (5) 広報誌「高P連だより」の発行
- (6) 地区研修会の実施

● 会費

（1人年額・円）

年 会 費		高 等 学 校		
特別支援学校		専 攻 科	定 時 ・ 通 信	全 日 制
幼・小・中学部	50	100	150	150

平成24年度の主要行事予定

● 愛知県高P連 総会

5月18日（金）・・・名古屋駅前
会場：愛知県産業労働センター

● 東海地区高P連大会（三重大会）

6月15日（金）・・・津市
会場：三重県総合文化センター

● 全国高P連第62回大会（和歌山大会）

8月23日（木）・24日（金）
会場：和歌山ビッグホール他

● 地区別研修会

県内5地区（名瀬・西三・東三・尾張・知多）ごとに開催します。

愛知県高P連見舞金支給制度

● 見舞金の支給対象

○ 児童生徒の学校管理下における傷病等
○ PTA活動時の保護者の事故

● 掛金

掛金は不要です。平成18年度まで存続した愛知県立学校安全互助会が残した積立金が愛知県高P連に移管され、財源となつていきます。

● 児童生徒に対する見舞金

（学校管理下における災害）
○ 死亡見舞金 500万円
○ 死亡見舞金（ただし登下校中は250万円）

● 香料（管理下外も支給）

5万円
○ 供花料（管理下のみ） 5万円
○ 障害見舞金
独立行政法人日本スポーツ振興センター障害見舞金の20%の金額
（ただし登下校中はその2分の1）

○ 治療見舞金

独立行政法人日本スポーツ振興センターからの医療費給付額が月額3万円以上のものについて、その20%（千円未満切捨て）の金額
（ただし登下校中はその2分の1）

● 保護者に対する見舞金

（PTA活動時における災害）
○ 死亡見舞金 300万円
○ 治療見舞金 10万円
入院8日～30日 20万円
入院31日以上

● 支給条件

愛知県高P連並びに日本スポーツ振興センターへの加入していること。高校の生徒は入学後の事故に限る。

● 支給対象外

故意の場合、第三者加害の場合などは対象にならないことがあります。

● 申請手続き

学校が手続きを行います。

全国高P連賠償責任補償制度

● 保険の性格と加入者数

全国高P連が主催する賠償責任保険です。平成23年度の加入生徒数は全国で100万人を超えています。

● 補償の対象

日本国内における高校生の生活全般に起因する賠償責任、PTA活動遂行に起因する賠償責任を24時間補償します。

● 掛金と加入手続き

年間1人当り300円。各学校のPTA単位で団体加入します。

● 事故の報告

事故が発生したときは、生徒・保護者・PTAからフリーダイヤルに連絡してください。

愛知県高P連高校生総合保障制度

● 保険の性格

愛知県高P連が主催する任意加入の保険です。「自転車総合保険」と「こども総合保険」を組み合わせた、傷害と賠償に対する24時間の総合保障制度です。

● 保障の期間

高校入学時から3年間

● 加入者数

毎年の加入者は1万3千人を超え、新入生の約30%超に相当します。

● 団体割引

団体保険であるため、個人で契約するよりも保険料が30%割引となります。

● 天災補償を新設

平成24年度入学生から、天災（地震・噴火・津波）補償が新設されました。

● 加入手続き

3月下旬の合格者出校日に各学校において、加入案内の資料を配布していただいております。申込書を期限までに郵送すれば、入学式の日から補償されます。

● 事故の報告

フリーダイヤルかインターネットで行ってください。



http://www.aichikoupren.org

愛知県高P連

検索